

SOPTECとうほく2017



7月7日(金)・8日(土)の2日間、宮城県仙台市の仙台卸商センター産業見本市会館「サンフェスタ」で「SOPTECとうほく2017」が開催され、2日間合計で1万1200人にのぼる印刷関係者が来場されました。

今回は「収益を生み出す“現場力”を育てる」というテーマを掲げ、展示会とセミナーを通して様々な提案が行われました。



当会場で行われた印刷OEM研究会のセミナーにおいて当社の市川サブマネージャーが「印刷OEM方式を応用したデジタル印刷物の管理と実践」というテーマで発表しました。

ISO内部監査員の養成講座

より多くの社員に、環境マネジメント(ISO14001)について理解を深めてもらうため、今年も9月16日に、人材育成の一環として内部監査員養成講座を行います。

内部監査は、組織の問題点を見つけ出し、改善につながる重要な位置づけです。内部監査をうまく活用する事で、ISOはもっと「使いやすく」「続けやすい」ものになり、会社の改善へとつながっていきます。

これを機に環境ISOへの理解を深めましょう。

ゲリラ豪雨



出典: lineq.jp

ゲリラ豪雨とは正式な気象用語ではなく、マスコミなどで主に集中豪雨の代わりとして使われている言葉で、大気の状態不安定により突発的に起こる局地的な大雨をゲリラ豪雨と呼んでいるようです。

原因として、地球温暖化による平均気温の上昇があげられますが、都市部でのゲリラ豪雨を引き起こす一番の要因はヒートアイランド現象です。エアコンなどによる大量の廃熱や、アスファルトとコンクリートで覆われた地表が高い温度になる事、そして高層ビル群により、気流が複雑な流れになることによって、局部的に非常に強い上昇気流を生み出し、急激に雲を発達させ巨大な積乱雲になりゲリラ豪雨が起これるという仕組みです。

ゲリラ豪雨が発生した際には、地下道やトンネルは危険な場合があります。水が流れ込んできて、車が浮いてしまったり、水没したりする可能性があるため、雨が長く降っているときは出来るだけ高いところに避難しましょう。

最近はパソコンやスマートフォンでピンポイントに降雨予測(雷や竜巻も)を確認することができるので、出掛ける予定がある時はこまめにチェックすると良いでしょう。

JS環境委員会短信

季節ごとの睡眠時間は夏が一番短くなるという調査結果もあるようです。今年は熱帯夜も多く、蒸し暑く寝苦しい日が続きますが、温度(湿度)設定を上手くして、しっかりと睡眠を確保し猛暑を乗り切りましょう。

本社 環境委員会メンバー 2017

委員長: 板倉英二

委員: 丸山直哉 小井土昌弘 高宮嘉奈子

松下創一 鈴木優梨菜 河野純一

